



変幻自在 堀内 スタイル

堀内誠一 旅と絵本とデザインと
7.10[土]—8.29[日]

戦

後の日本グラフィックデザイン史に多大な功績を残したデザイナー・堀内誠一(1932-1987)は、一方で多くの名作を世に送り出した絵本作家でもありました。

堀内誠一と絵本との出会いは、雑誌デザインで活躍していた20代の堀内に、福音館書店「こどものとも」の編集長を夫人の路子さんが紹介したことがきっかけでした。『くろうまブランキー』(1958年)と『七わのからす』(1959年)の2作で絵本作家としてデビューした堀内は、生涯に100冊以上の絵本や挿絵に携わりました。

彼の絵本を並べて見ると、すべてが同じ人の絵なのかと驚くかもしれません。それほどに多彩な堀内の絵本は、デザイナー、アートディレクターならではの視点で、その文章にもっともふさわしい画材、画風や構成が考え抜かれ描き分けられているのです。



1965年の初版から現在まで版を重ねる大ベストセラー『ぐるんぱのようちえん』。これがデビュー作となった西内ミナミ氏の文章に、堀内は明るくカラフルな絵をプレゼントしました。『おおきくなるの』(1964年)は次女の紅子さんが生まれた際につくられた姉妹のおはなしで、それまでの日本の絵本にはあまり見られなかった、色面によるグラフィカルな構成が今も新鮮です。自著『堀内誠一 ぼくの絵本美術館』で「幼いときに出会ってほしい私が選んだ絵本」の1冊に挙げている『こすずめのぼうけん』(1976年)は、冒険物語の緊迫感と親子の愛情表現が、細密な水彩画によって描かれています。

物語に寄り添い、“絵で説明する”というイラストレーションの原点にこだわり続けた堀内誠一の、幸せにあふれた絵本の世界をお楽しみください！
(学芸グループ主任 中村麻紀)



『こすずめのぼうけん』より 1976年
©Seiichi Horiuchi

幕末に 画鬼と呼ばれる 絵師がいた

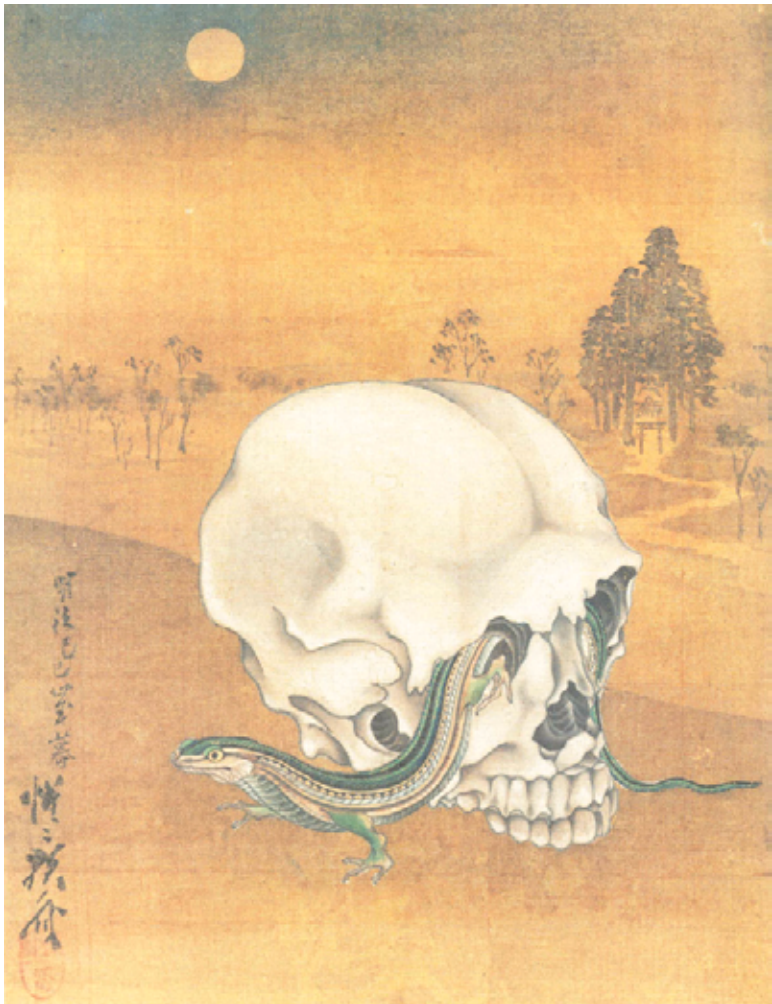
没後120年記念 仕掛けの絵師 鬼才・河鍋晩斎
9.4[土]—10.11[月・祝]

画

「鬼」——。これは、河鍋晩斎(天保2・1831年~明治22・1889年)が少年の頃、絵の師匠であった狩野派絵師、前村洞和が名づけた呼称です。その名のごとく、目にしたものには何でも食らいつき、徹底して描かずにはいられなかった

晩斎が、とりわけ愛着を寄せたモチーフを2つ紹介します。まずは髑髏。シャレコウベの眼穿の間をトカゲがぬると抜けていく「髑髏と蜥蜴」は、息を呑むほどの妖気に満ち、眼の前にあるかのごとき臨場感をもって迫ってきます。屍を描くことへの

《風俗鳥獣画帖 髑髏と蜥蜴》明治2、3年(1869、70)〈当頁の展示：9月17日[金]~29日[水]〉



強い関心は、9歳のとき、洪水で川に浮いた生首を拾い、それを生々しく写し取ったという挿話からも伺え、解剖学者・養老孟司はその骨組の正確さを称賛しました。

次は美人画。柳腰で衝立にもたれかかり、巻物を手にする「文読む美人」。文の主はごく親しい人なののでしょうか？女性のまなざしは穏やかで、口元には笑みをたたえています。ここにはプライベートを垣間見るような密やかな空気がただよっています。美人画をはじめとする多くの名品は、仏人美術収集家エミール・ギメや、英人建築家ジョサイア・コンドルらを魅了し、今、海外の美術館のコレクションとなっています。

圧倒的な画力と魅惑的な雰囲気、見る者をとらえて離さない晩斎の絵の世界。時代も国境も悠々と超えるその魔力に、とっぴりつかってみませんか。

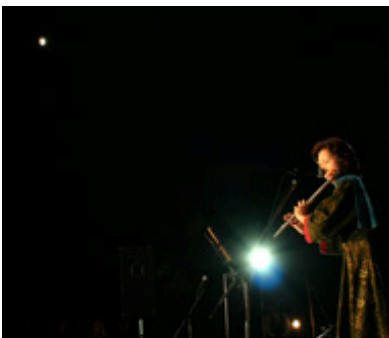
(学芸グループ主任 河内えり子)



《文読む美人》明治21年(1888)頃 河鍋晩斎記念美術館

美を介した 出会いと発見！

ミュージッククラブ会員
交流イベントのご案内



平成20年・十三夜の宴の様子

佐野美術館賛助会ミュージッククラブは、美術を介して多くの方が集い憩う場を目指し、さまざまな活動を展開しております。

十三夜の宴

「十三夜」とは旧暦9月13日の夜を指し、日本では古くから十五夜と

共に重んじられてきました。ミュージッククラブでは毎年この晩に、「十三夜の宴」と題した月と音楽を楽しむコンサートを開催しております。今年の演奏者は、サクソ奏者の中村健佐さんです。演奏後は名月と日本庭園を眺めながら、温かいバイキング料理をお楽しみいただきます。十三夜の晩は、ぜひ佐野美術館へお出掛け下さい。

日時：10月20日(水)

17:00開場 17:30開演
会場：佐野美術館庭園内 隆泉苑
会費：会員3,000円・会員外4,000円
定員：約100名



芦の湖カントリークラブ

第5回ミュージッククラブ ゴルフ大会

芸術の秋もいいけどスポーツの秋も！ということで、毎年9月はゴルフ大会を開催しております。会場

は初秋の風薫る芦の湖カントリークラブ。富士を眼前に広大なコースでのびのびとプレーができます。プレー終了後の懇親会では、美術館ならではの賞品が！女性や一人様でも、気軽にお申込み下さい。

日程：9月6日(月)

8:00受付 8:30スタート

会場：芦の湖カントリークラブ
参加費：会員3,000円・会員外5,000円
プレー代金：9,000円
募集人員：32名(4名8組)

※イベント参加は要申込・先着順。
お問合わせ・お申込みは
ミュージッククラブ事務局(遠藤・村崎)まで